



# 環境保全



私たちは、製品による環境への貢献の他に、事業活動における環境負荷低減の側面からも環境保全に取り組んでいます。事業活動では、製造における各工程でのエネルギー使用の削減や、廃棄物の3R\*推進に取り組んでいます。また、生産拠点を中心とした15拠点ではISO14001の認証を取得しています。環境マネジメントシステムの効果的な運用を通じて、環境トラブル発生防止や各種法令の遵守に加え、環境負荷の低減を図り、持続可能かつ地球環境と調和した経営活動を推進します。

\* 3R:リデュース・リユース・リサイクル



## CO<sub>2</sub>排出量削減目標の達成に向けて事業所をサポートしグループ全体の環境活動をステップアップさせます

地球温暖化による異常気象が頻発する中で、脱炭素社会の実現をはじめ環境保全に貢献する企業活動の要望は年々高まっています。東洋アルミグループでは、事業活動からのCO<sub>2</sub>排出量を2031年度(2013年度比)40%減を目標にし、環境負荷をできる限り低減した事業活動に取り組んでいます。各事業所と連携しながらその目標の実現に向けたPDCAサイクルを回していくのが私たちの役割です。

2022年度は事業活動からのCO<sub>2</sub>排出量、産業廃棄物を前年度比で削減できました。ただし、これは市況の悪化で製造所の稼働率が低下したことが大きな要因となっています。本来のあるべき姿は、製造所がフル稼働している中でも削減を実現していくことです。各事業所では古い設備を省エネルギー設備に更新する、化石燃料からCO<sub>2</sub>を排出しないエネルギーへ転換するなどの環境投資を計画する他、本来廃棄していた物をリサイクルしたりするなど、さまざまなアイデアや工夫で

CO<sub>2</sub>排出量と産業廃棄物の削減を実施しています。そこでは従来の考え方を考える発想も生まれています。例を挙げると、モノを温めたり冷やしたりする設備の省エネルギーは、従来から温度設定を細かく最適に調整することで行っていました。温度設定の最適化から視点を変え、従来から使用してきたシステムに疑問を持ち確認することで、温度を合わせる制御を根本的に見直すことにつながり、長期的により省エネルギーにつながる結果として確認できた事例が出てきました。

私たちは事業所との勉強会やフリーディスカッションなどで効果のあった事例を収集して水平展開するとともに、外部の専門家の知

見や新技術をリサーチした新しい提案で、各事業所のCO<sub>2</sub>排出量や産業廃棄物の削減目標の達成をサポートしています。

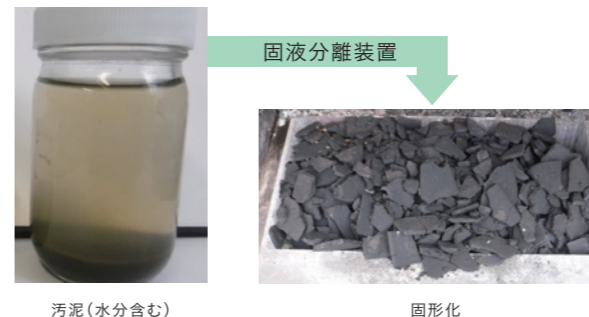
「環境保全」と言うところか他人事に感じてしまいますが、CO<sub>2</sub>排出量や産業廃棄物の削減は私たちの生活に密接に関連した非常に身近な課題です。私たちの未来を変える身近な課題として浸透させ、東洋アルミグループの環境活動をステップアップさせていただきます。



コーポレート部門  
エンジニアリングセンター  
ユニットリーダー  
渡邊 圭一

## ● 汚泥産業廃棄物削減

新庄製造所の分離槽清掃で排出される汚泥は全て産業廃棄物として外部業者で処理を行っていました。2022年度より稼働率の低い固液分離装置で、汚泥の固形化を実施したことで汚泥関係の産業廃棄物発生量を81.3%削減することができました。稼働率の低い装置を有効に活用し、今後とも産業廃棄物の削減に取り組んでいきたいと思ひます。



## ● 森林認証製品の導入

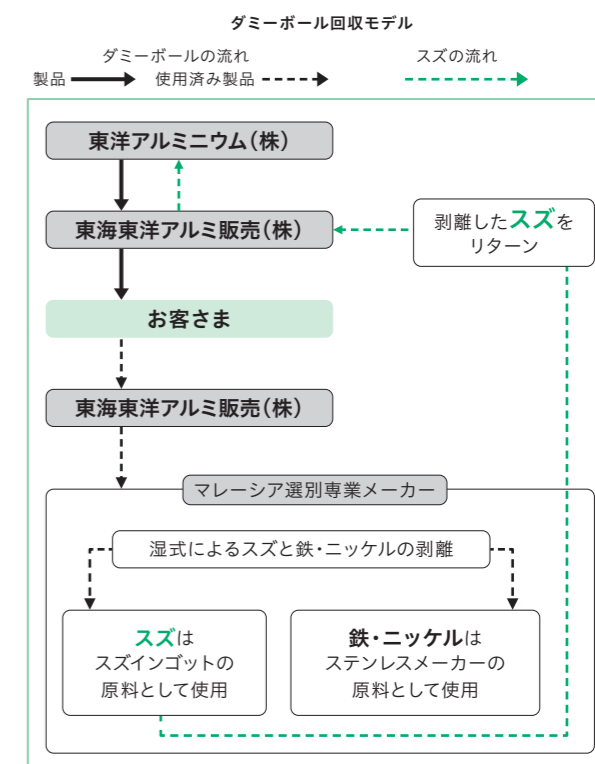
森林認証制度とは、適正に管理された森林から切り出される木材に認証マークを発行することで、持続可能な森林の利活用・保護を図る制度のことです。現在、世界では1分間に東京ドーム2個分ずつの森林が消えているとも言われており、この先、持続的な原料調達に難しくなることが予想されます。東洋アルミニウム(株)および東洋アルミエコープロダクツ(株)では、森林認証制度に積極的に参画し、認証森林から切り出された木材を使用して製造、流通、販売される認証マークのついた森林認証製品(環境配慮型製品)を生活者に選んで買っただくことで、森林保護の支援や地球環境の保全に貢献するとともに、環境に配慮した企業経営やCSR(企業の社会的責任)への取り組みを継続的に推進していきます。



森林認証を取得した原紙を使用したおべんとうカップシリーズ  
「抗菌もっと深い®おべんとうカップ」

## ● ダミーボールリサイクル事業

東海東洋アルミ販売(株)では、電子部品製造用の工程材として東洋アルミニウム(株)で製造しているダミーボールを販売しています。2022年9月から回収業務をスタートし、2022年度の回収実績は19tになりました。最終目標は回収したダミーボールからマレーシアの協力会社にてスズ、鉄、ニッケルを取り出しインゴットとして再生、さらに再度ダミーボール製造用原料とし再使用する構想です。再使用が実現しますと東洋アルミニウム(株)からお客さままでも含め製品から製品へのリサイクルが完成することとなり、循環型社会へ大きく貢献すると考えます。



ダミーボール